

5 月 7 日：VN 指数は 3 営業日連続で上昇 (VN-Index +0.68%)

- VN 指数は、慎重な投資家心理を受け、基準値付近で取引をスタートした。
- 市場はすぐに上昇したが、その後キャッシュフローが低い中、方向感が定まらない展開が続いた。
- 不動産セクターが再びけん引役となり、エネルギーセクターがそれを支えた。一方、銀行・金融セクターは相場の足を引っ張った。
- 後場は上昇セクターが上げ幅を拡大する一方、下落セクターは比較的横ばいとなった。そのため、指数は徐々に上昇した。
- 187 銘柄が上昇、132 銘柄が下落、55 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 17.2 兆ドンとほぼ変わらずとなった。

VN30 指数はプラスで終了 (VN-30 +0.39%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 14 銘柄が上昇、11 銘柄が下落、5 銘柄が変わらずとなった。
- 主な上昇銘柄は VIC (+4.11%)、BVH (+3.16%)、BCM (+1.96%)、GVR (+2.26%) など。
- 主な下落銘柄は MSN (-1.77%)、HDB (-1.41%)、SSI (-1.30%) など。

セクター・個別株の動き

- 石油ガス株の PVD (+1.11%)、PVB (+1.54%)、PVC (+2.25%) は、中国と EU の景気見通しが改善し原油価格が 3% 上昇したことを受け、上昇した。
- VCS (-1.49%) は、2025 年第 1 四半期決算が貿易障壁の増加により売上高 1 兆 180 億ドン（前年同期比 5% 減）、純利益 1,650 億ドン（同 20% 減）と悲観的な内容となった。これを受け、今後の業績への影響が懸念され下落した。
- 外国人投資家は 8,450 億ドンの大幅な買い越しとなった。不動産株の DXG (+4.58%) と NLG (+6.97%) が最も買い越された。一方、売り越しは VRE (0.00%) がトップだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。